

平成24年度 たっち 事業計画概要

【前年度の概況】

- 1 11年3月11日に発生した東日本大震災での経験を今後活かすべく、利用者参加による地震避難訓練を、10月、3月の計2回実施した。
- 2 親子同士の出会いの場「ひろばでタッチ」を毎月実施した。
- 3 個別事業計画の作成、予算の執行状況を担当者が責任を持って把握し、記録に努めた。
- 4 ボランティアの受け入れを積極的に行い、今後の新たなルール設定に向けての準備に取り組んだ。
- 5 相談業務を中心とする市との連携は、一定の枠組みの下、利用者のニーズに合わせて柔軟に対応している。
- 6 日常を通じて職員同士のコミュニケーションを深め、業務力の向上に努めた。
- 7 子育て支援の今後に向けては、具体的な提案の取りまとめ等、引き続き課題である。

【前年度目標】

- 1 防災・防犯のために研修、特に地震に関する対応強化
- 2 利用者の仲間作りを支援する。
- 3 会計の仕組みや事業を取り巻く制度・情勢の動向の理解を重点項目とする、チャレンジプランに取り組む。
- 4 サービス事業のための連携強化、ボランティア育成、受け入れのための基盤整備を行う。
- 5 事業運営における市職員との協働体制の更なる充実
- 6 職員が心身共に健全に勤務できる環境整備
- 7 子育て支援の今後についてあるべき姿を検討する。

【新年度重点目標】

- 1 防災・防犯に関する対応を強化する。特に次年度は不審者・侵入者対応の向上に重点を置き、研修を実施する。
- 2 利用者の仲間作りを支援する。
- 3 会計の仕組みや事業を取り巻く制度・情勢の動向の理解を重点項目とする、チャレンジプランに取り組む。
- 4 ボランティア育成、コーディネートに向けてしらとり・他団体等と連携する。
- 5 事業運営における市職員との協働体制の更なる充実を目指す。
- 6 職員が心身共に健全に勤務できる環境を整備する。
- 7 子育て支援の今後についてあるべき姿を検討する。

【施設管理運営目標】

- 1 職員個々が、組織図に従って定常業務をしっかりと行うとともに、会議や研修を通して人材育成をしっかりと行う。
- 2 ボランティア対応強化に向けた専任職員のスキルアップを経たボランティア・コーディネーター養成（府中市、社会福祉協議会との積極的連携）に取り組む。
- 3 講座・交流会は部署の枠を超え、全職員の連携の下企画・運営する。
- 4 毎月防災訓練を実施する。年2回、たっちの入っている「くるる」防災訓練においても積極的に役割を担い、自主訓練においては利用者参加型訓練を2回以上実施する。

【施設内共通支援目標】

- 1 利用者がまた来館したくなるように、職員一同マナーや思いやりを心がける。
- 2 アンケートにより利用者のニーズを把握、的確にサービスに反映する。
- 3 必要な情報の共有や状況把握のための連携、情報交換を随時、定例で行う。
- 4 地域の活性化に繋がるボランティアの受け入れ、育成に積極的に取り組む。
- 5 0歳児・1歳児を対象とした交流会を実施し、利用者同士の仲間作りを支援するとともに、保護者のリフレッシュを図る。また、利用者のニーズを把握し、地域の方々に喜ばれるような講座を実施する。
- 6 「家族支援システム」を、適切な利用者支援に向けて活用する。

【法人本部】

- 1 法人財務指標の達成
人件費65% 事務費12%
事業費13% とし
特に人件費指標の達成に重点をおく
・基準に基づく適正な職員配置
・級別の適正な人件費水準
- 2 法人創設65年
(本来は平成23年度)
・地域に向けて、施設の活動報告会等(神田事業所)
・地域やボランティアに感謝する会(各施設)
・スウェーデン視察研修実施
- 3 業務管理体制整備の強化
・ルールに基づくサービス提供
・法人理念の浸透
- 4 人材育成
・職位別(5級以上)研修実施
・基本スキル研修の実施

総合相談		家族支援		
受付	相談	ひろば	リフレッシュ保育	ファミリーサポート
<ol style="list-style-type: none"> 1 サービス利用のための登録・案内を行 2 子育てに関連する社会資源の情報を収集し、利用者へ提供・紹介す 3 保健室を活用して身体測定を行い、子どもの健やかな成長を見守 4 毎月の訓練を通じて防災の知識、技術を高め、災害発生時の対応に備える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 府中市と連携、協働し子どもへの虐待の予防・早期発見に努める。子ども及びその家族に関する相談を行う。 2 日頃より関係機関との連携に努め、行政機関への通告や介入が必要とされる場合には速やかに対応する。 3 たっち他部署、しらとりと連携し、利用者やその家族の生活全般を総括的に支援する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者が安心して安全に居心地よく過ごせる場所として、環境整備に努める。 2 親子の触れ合いを深め、季節感の感じられる内容の事業を企画、実施する。 3 親子同士の出会いの場「ひろばでタッチ」を毎月実施する。 4 日常的な子育ての不安や悩みの相談・情報提供に応じ、内容によっては相談員と共有、連携し対応する。 5 日々の関わりやアンケートにより利用者の気持ち、ニーズを把握し、職員間の報告・連絡・相談を徹底しながら、積極的にコミュニケーションを図りつつ、支援の充実に努める。 6 利用者の安全を第一に考えて防災・避難訓練を行うとともに、常に防災の意識を高く持ち、有事に備え円滑な職員間の連携による対応を目指す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 保護者の子育てを支援し、子どもたちのありのままの姿を受け止めながら、子どもも保護者も安心して利用できる保育を目指す。 2 年齢・利用頻度など多様な利用形態の子どもたちが、楽しく保育時間を過ごせるように努め、個々の成長・変化を踏まえた個別的な働きかけを行う。 3 報告・連絡・相談を徹底して職員の意思の疎通を図り、相談員と連携するなど、多角的に親子を支援する。 4 各種研修参加を通して、職員のスキルアップを図り、保育の質の向上を目指す。 5 訓練参加や研修受講を通し、防災知識や技術の向上を目指し、併せて、利用児の安全確保の体制を確立する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 スムーズな援助活動・利用のための、会員登録に関する業務を行う。 2 安心して会員活動ができるように、援助活動の調整に関する業務を行う。 3 安心・安全を目指し、援助活動に係る講習および指導に関する業務を行う。 4 事業の活性化を目指し、サブリーダー育成および連携に関する業務を行う。 5 充実した活動に向けて、会員間の交流に関する業務を行う。 6 必要に応じた、関係機関との連絡調整に関する業務を行う。 7 子育て支援の充実のため、センターの広報に関する業務を行う。 8 常に防災を心がけ火を出さない。

会計・庶務・事務局担当
<ol style="list-style-type: none"> 1 予算管理と執行管理を適切に行う。 2 月次の資金収支を正確に把握し、会計責任者へ報告する。 3 職員研修などを通して職員への予算・執行の周知をはかる。 4 新会計基準移行への適切な対応。